

〔狛江市〕 学校運営協議会：議事録

会 議 の 名 称	令和8年度第1回三中ゾーン学校運営協議会
開 催 日 時	令和8年6月5日(金) 17時00分～18時30分
開 催 場 所	狛江市立狛江第三中学校 会議室
出 席 者 氏 名	岩瀬 敏郎 鷺見真太郎 繁平 光伯 白井 誠 毛塚 敬進 森倉 直 小野 良平 山口あずさ 森 勇貴 片柳久美子
欠 席 者 氏 名	細野 誠治 丸島 寛範 峯岸 政夫 羽曾部 陽 恒松 克治 毛塚 明善 梶川 朋 伊藤 ゆかり
傍 聴 者	1名
議 題	1. 会長選出 2. 三中ゾーンの今後について 3. 部活動の地域連携について 4. 行事(運動会・体育祭)の感想等 5. 各学校の生徒の様子 6. その他
協 議 要 旨	1. 会長選出 白井 誠 氏が選出された。 2. 三中ゾーンの今後について (1)現状と論点整理 ・「狛江市魅力ある学校づくり推進連絡協議会」と並行して三中ゾーンでも検討している。 ・主な論点は4点 「多様性の受け入れ」「学校を楽しい場にする」「子どもの声の拾い方」「市全体 or ゾーンごと」。 (2)本日の検討課題 ・学校として「変えてはいけないもの」。 ・多様性に伴う生きづらさへの対応。 ・不登校の要因(多様な家庭や子どもへの対応)。 (3)意見交換 ・楽しくない学校に児童・生徒は通いたいと思わない。 ・教師が過度の「サービス業」になるべきではない。 ・今後、学習指導要領改訂により、学校の裁量(余白)が増える。 ・コミュニティ・スクールとしての役割がより重要になる。 3. 部活動の地域展開について (1)部活動の現状 ・少子化によりチーム競技の維持が困難で、市内では野球は4校合同、サッカー等も地域展開が進行中である。 ・外部指導員の導入が進んでいる。 ・活動時間は一日1時間30分で、平日の最終下校は17時30分となっている。 ・学校ごとの部活動の維持は困難になっている。 ・地域クラブに参加する生徒が増加していて、スケートボードの全国大会出場の例もある。 (2)主な意見 ・部活動の指導意欲のある教員に報酬を与える仕組みが必要ではないか。 ・民間のクラブは費用が高く経済的負担が課題である。学校部活動の意義は依然大きい。 ・教員給与の改善が必要である。自治体による財政差も影響してい

	るのではないか。 ・放課後の地域学習支援に国の補助がある。 ・社会人指導者の確保は時間的に困難である。 ・「ゆるサークル」(サップ・ボルダリング等)の今後の可能性を探る必要がある。 (3)その他 ・参考…部活動の地域移行に関する論文(弘済会教育論文 2025)。 4. 行事(運動会・体育祭)の感想等 ・和泉小、三中ともに、児童・生徒が役割を担い、仲間と協力しながら行事を作り上げる様子が伺えた。 ・競技が当日参加しやすい形式になっていてよい。 ・風が強く砂埃が多かった。 5. 各学校の生徒の様子 ・和泉小…児童が落ち着いて学校生活を送り、学習や行事に前向きに取り組んでいる。一方で、児童一人ひとりの状況に応じた支援や家庭との丁寧な情報共有の継続が必要である。 ・三 中…生徒が学校生活や行事に意欲的に取り組み、部活動や係活動等でも主体的な姿が見られる。学校生活に困難を抱える生徒への支援について、校内の組織的な対応に加えて家庭や関係機関との連携を進めている。 【質問】子どもの権利条例についてはどのようなになっているか。 [回答] 和泉小では周知文書を配布した。三中では未配布である。 【質問】保護司会とどのように連携しているか。 [回答] とくに保護司会とは連携していないが、薬物乱用防止教室は実施している。 6. その他 ・第2回学校運営協議会の予定 9月18日(金)16:30～ 於和泉小 [内容] 職員紹介・動画紹介 等
--	--